



あしちん (ドロクイ属)

～生活史についての研究～

① 沖縄の“あしちん”は2種類いる!?

“あしちん”は、“いりかーみじゅん”や“やまとみじゅん”と同じニシン科に属する魚です。沖縄県には、ドロクイとリュウキュウドロクイの2種が生息しており、共に



ドロクイ



リュウキュウドロクイ

“あしちん”と呼ばれています。地域によっては、リュウキュウドロクイを“あんまーあしちん”や“わくがわあしちん”と呼び区別しているところもあります。

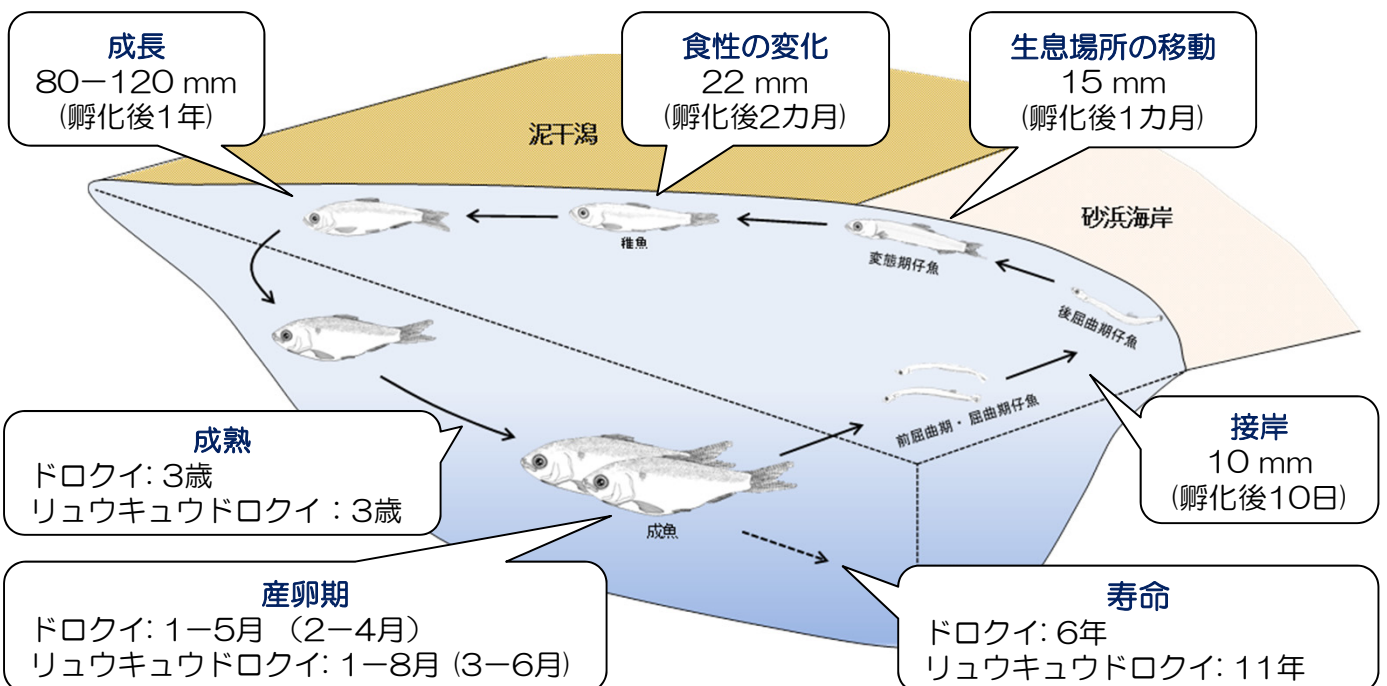
県内では、主に刺身やみそ和え（沖縄風なめろう）で食されていますが、江戸前ずしの小肌のように酢めにして握りにするのも美味です。冬場（11～1月頃）に、一番、脂がのります。



“あしちん”の刺身

② “あしちん”の生活史

生活史とは、いつどこで産卵し、どんな卵をどのくらい産むのか？生まれた子どもは、どこで何を食べて成長し、どのくらいで成熟するのか？寿命はどのくらいなのか？など生まれてから死ぬまでの一生のことです。沖縄県水産海洋技術センターと琉球大学では、“あしちん”の生活史について共同研究を進めてきましたが、あしちんは水深20mよりも浅い海域で、生活史を完結していることがわかりました。



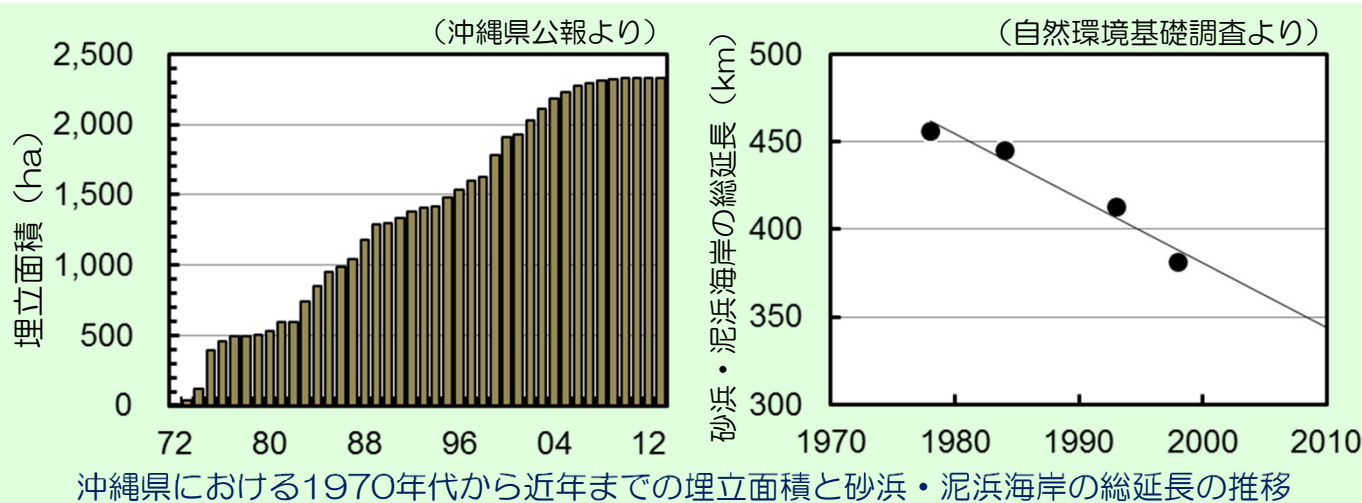
③ “あしちん” 資源は今

両種は、仔稚魚と呼ばれる子供時代には、右の写真のような波打ち際に強く依存しており、これらの環境が重要な成育場となっています。

しかし、沖縄県の内湾域は減少の一途をたどっており、その主な理由は埋め立てとなっています。特に、砂浜海岸や泥浜海岸は、現在も、埋め立ての対象とされています。また、これらの海岸は、護岸整備などで人工的な海岸へ変わりつつあります。



波打ち際 (中城湾)



私たちの調査から、成育場となる波打ち際の消失が大きな海域では、資源の減少が認められ、また、産卵場所のかく乱等で両種の交雑が生じていることもわかってきました。このように重要な環境が消失する中、海の中では様々な異変が起こっています。

④ 沿岸域の統合的な管理に向けて

波打ち際のようなごく浅い環境は、“あしちん”だけでなく、多くの魚種の重要な成育場となっています。そのため、沿岸環境の保全は、水産資源を持続的に利用するためだけでなく、沖縄の文化や観光産業を育むためにも極めて重要です。

沖縄県水産海洋技術センターでは、引き続き、沖縄県の内湾域を代表する“あしちん”のモニタリングを継続し、沿岸域の統合的な管理に向けて、取り組んでいこうと考えています。

⑤ 参考資料・文献

- ・ 上原匡人・今井秀行・岩本健輔・太田 格・海老沢明彦・吉野哲夫・立原一憲. 2015. ドロクイ属2種の分布および生息環境：近年の沿岸域の改変と交雑個体の出現の関係，魚類学雑誌，62: 13-28.
- ・ Uehara, M and K. Tachihara. 2015. Reproductive traits of the western Pacific gizzard shad *Nematalosa come*: implications for conservation and management in a population at its distributional margin. *Environmental Biology of Fishes*, 98(1): 1-10.
- ・ Uehara, M. and K. Tachihara. 2012. Reproductive biology of Japanese gizzard shad (*Nematarosa japonica*) in coastal water around Okinawa Island, Ryukyu Archipelago, southern Japan. *Ichthyological Research*, 59: 314-322.
- ・ Uehara, M., F. Kashiwagi, H. Imai and K. Tachihara. 2011. Biological traits of naturally induced hybrid individuals between two gizzard shads, *Nematalosa come* and *N. japonica*, in coastal waters around Okinawa Island, Ryukyu Archipelago, southwestern Japan. *Ichthyological Research*, 58:344-349.
- ・ Uehara, M., H. Imai and K. Tachihara. 2009. Age and growth of two gizzard shads, *Nematalosa come* and *N. japonica*, in coastal waters around Okinawa Island, southern Japan. *Fisheries Science* 75:295-301.